

Impact of orthopaedic surgery on quality of life in patients with rheumatoid arthritis: a retrospective study using the FRANK (Fukuoka rheumatoid arthritis Network) registry

関節リウマチ患者における整形外科手術は健康関連 QOL を改善する - FRANK レジストリを用いた後ろ向き研究 -

鶴居 亮輔

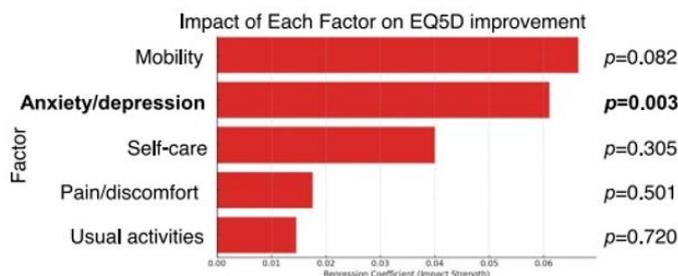
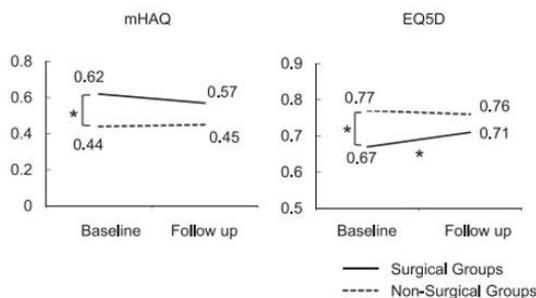
本研究は、福岡リウマチネットワーク (FRANK) の多施設データを用い、整形外科手術が関節リウマチ (RA) 患者の生活の質 (QOL) に与える影響を、背景を一致させた非手術群と比較することで明らかにした研究です。

本研究の結果、手術群は術前に低い QOL 指数 (EQ-5D) を示していましたが、術後 1 年で有意な改善を認めました。解析の結果、この QOL 向上には「移動の能力」の回復と「不安・ふさぎ込み」の改善が最も大きく寄与しており、手術による身体構造の再建が、身体機能の改善にとどまらず、精神的健康の維持・向上にも重要であることが示されました。

近年、薬物療法の進歩により疾患活動性のコントロールは向上しています。しかしながら、関節破壊や機能障害が残存する患者も依然として存在します。そのため、包括的なリウマチ診療において、整形外科手術は依然として重要かつ不可欠な治療戦略の一つであると考えられます。

<https://doi.org/10.1093/mr/roaf078>

FRANK registryを用いて、整形外科手術による患者立脚型評価の改善度を調べた(背景をそろえた対照群と比較)



- 手術によりADL, QOLが改善
- 移動能力に加え、不安・抑うつ気分の軽快もQOL改善に大きく影響

整形外科的手術はRA患者の健康関連QOLを改善する

Tsurui R, et al. Mod Rheumatol 2025 November 26:roaf078, Figure 2BC, 3